

平成24年度事業計画

平成24年度は、東日本大震災からの復興に向け被災地評価が多数求められるものと思われま。協会としてもこれに適切に対応してまいります。また、平成23年度に設置した震災復興対策室は意欲ある会員による献身的な活動により大きな成果をあげてまいりましたが、24年度においては、会員の負担軽減を図りつつ活動を継続してまいります。尚、各委員会の事業計画は以下のとおりです。

1. 総務財務委員会

(1) 被災関連業務等への対応

「個人債務者の私的整理に関するガイドライン」に続き「福島産業復興機構」、「東日本大震災事業者再生支援機構」が設立されるなど二重債務問題への対応が進展しつつあります。また、復興事業に伴う被災地鑑定評価等も予想されるところです。士協会としてもこれらの業務に係る情報の共有化等適切に対応してまいります。

(2) 見積合わせ・競争入札への対応

公共発注の業務に係る見積合わせ・競争入札に対しては継続的な要望活動が必要です。業務品質の維持と会員の適切な利益確保の観点から、業界団体として、会員の意見を反映させつつ引き続き要望活動を行います。

(3) 公益法人への対応

平成25年11月までに一般社団法人か公益社団法人のいずれかに移行しなければなりません。当士会は24年度中の公益認定を目指します。また、引き続き公益活動を実施してまいります。(5)(6)(7)(8)(9)参照。

(4) 地価調査鑑定評価書の点検業務

福島県地価調査に係る鑑定評価書の品質保持のため、昨年同様、評価書記載内容の点検を行います。

(5) 不動産の無料相談会の実施

公益活動の一環として、年2回・県内4市で開催している無料相談会については、より効果的な開催方法と内容の充実を図ってまいります。更に、毎月定期的に不動産の無料相談に応じてまいります。また、昨年度に引き続き他士業との合同による相談会にも参加します。

(6) 各市町村固定資産担当者向け研修会の開催

調査研究委員会・公的評価委員会とともに、県との共催による各市町村固定資産担当者向けの研修会を開催し、各市町村に有益な情報を提供します。

(7) 公開講演会の開催

公益活動の一環として、第4回目の公開講演会を開催します。

(8) 委員及び講師等の推薦等

公的委員会・審議会等の委嘱に関し、委員の推薦を行うとともに、調査研究委員会と連携して研修会等への講師派遣を行います。

(9) 会員の知見の向上と士協会活動の活性化

「会議参加支援基準」に基づき、「不動産鑑定シンポジウム」等への会員の参加を支援し、会員の知見の向上と士協会活動の活性化に役立っています。

(10) 事務局職員退職に伴う対応

事務局職員が一人となり負担が大きくなることからパート等の採用を検討します。

2. 調査研究委員会

(1) 各市町村固定資産担当者向け研修会の開催

公的評価委員会と連携し、県との共催による各市町村固定資産担当者向けの固定資産評価に関する研修会を開催し、各市町村に有益な情報を提供します。

(2) 会員向け研修会の開催

平成24年5月の定期総会に合わせて会員向けの研修会を開催し、会員の専門的資質の向上と自己研鑽を支援します。

3. 公的評価委員会

(1) 地価公示及び地価調査等

公示・調査にかかる分科会を開催し、評価バランスの検討を行うほか、北海道東北ブロック会議へ参加し、他県との情報交換を行います。また、国税のバランス検討会議に協力します。

公示地・基準地の放射線測定を今年度も継続して行います。

(2) 各市町村固定資産担当者向け研修会の開催

調査研究委員会と連携し、各市町村固定資産担当者向けの固定資産評価に関する研修会に協力します。

4. 資料委員会

(1) ホームページの運営及び県民への情報提供

当協会のホームページについて、運営方法の改善と改良（アクセス分析と今後の対策）に努め、引き続き県民へ有益な情報提供を行います。

(2) 平成24年度地価調査書の発行

今年度も、より活用しやすい地価調査書の発行に努めます。発行部数については500部とし、地図の見やすさを検討してまいります。

(3) 事例資料等の整理及び管理

今年度も事例資料検索システムのデータ更新を引き続き行います。

5. 網紀委員会

機会あるごとに倫理の保持高揚について、会員の注意を喚起するとともに、一般からの鑑定評価等に関する苦情受付及び相談窓口として他委員会と連携し、適正に対応していきます。

6. 震災復興対策室

(震災影響調査委員会、ふくしま新生委員会)

- ・アンケート調査の実施
- ・放射線測定データの統合
- ・福島大学との連携機能の保持
- ・無料相談会等への支援
- ・まちづくり支援機構、他土業との連携等中長期的課題の検討

以上